

# ■羽生市の『平成22年度決算財務書類(財務4表)』について

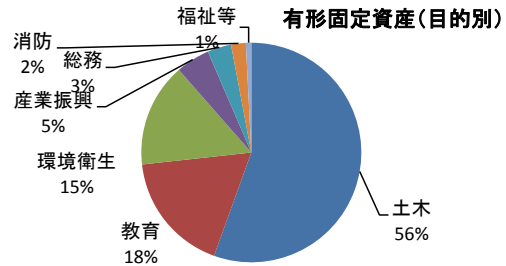
『財務書類(財務4表)』は、企業会計で用いられる「発生主義・複式簿記」の考え方を取り入れた『新地方公会計制度』に基づく財務書類の整備により、見えにくいコストや正確なストック情報を把握し、また資産や債務の管理を適切に行うことで、将来的な資産の活用方針の策定や適正な借入計画につなげることを目的としています。今回は3年度目として、平成22年度決算による特別会計や市の関連団体を含めた連結ベースの財務書類(財務4表)を作成しましたのでお知らせします。

## 貸借対照表【バランスシート】

年度末(3月31日)時点で、市や市関連団体が住民サービスを提供するために所有している道路、学校、保育所等の資産を左側に、その資産を取得するためにどのような財源で賅ってきたかを右側に表しています。

「資産」は、これからの世代に残る財産状況やこれまでに投資された資金の用途状況、「負債」は、これからの世代が負担していく借入金などの状況、そして「純資産」は、これまでの世代が負担した資金状況がわかります。

資産の部は、H21とH22を比較して、7.1億円減少していますが、これは、資産形成にかかる事業費よりも減価償却等の経費が大きかったためです。負債の部では、新たな借入金の抑制により地方債等の負債が減少しています。

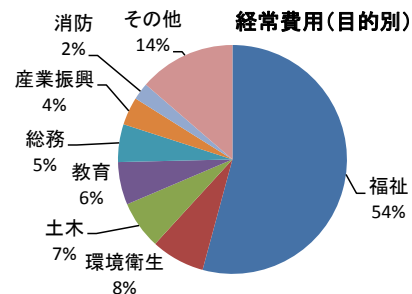


資産の部【これまで取得した資産】		H22	H21
公共資産	① 有形固定資産 ・市役所庁舎、学校、道路、公園な	921.4億円	930.5億円
	② 売却可能資産 ・旧消防庁舎などの未利用資産	2.6億円	2.7億円
投資及び出資金等		31.3億円	24.4億円
流動資産(うち歳計現金は25.4億円)		42.9億円	47.7億円
<b>資産合計</b>		<b>998.2億円</b>	<b>1005.3億円</b>

負債の部【将来世代が負担する金額】		H22	H21
固定負債	地方債・長期未払金	282.1億円	290.3億円
	退職手当引当金など	55.0億円	58.9億円
流動負債	翌年度償還予定地方債・未払金	28.9億円	29.0億円
	賞与引当金	2.0億円	2.2億円
負債合計		368.0億円	380.4億円
<b>純資産の部(現在までの負担額)</b>		<b>630.2億円</b>	<b>624.9億円</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>998.2億円</b>	<b>1005.3億円</b>

## 行政コスト計算書

経常費用は、1年間に建設事業以外の行政サービスにかかった費用(福祉活動やごみ収集等)を分野別に表し、経常収益は行政サービスの対価として取められた使用料等を表しています。H22では、経常費用のうち物にかかるコスト及び経常収益の保険料、事業収益が大幅に増加しておりますが、その大部分は、連結対象法人である埼玉県都市競艇組合の費用増及び収益増を主な要因としております。全体としては、経常行政コストの増加よりも経常収益の増加が多かったため、前年度より純経常行政コストは減少しています。



経常費用	H22	H21
① 人にかかるコスト ・職員給与や議員報酬など	32.5億円	36.0億円
② 物にかかるコスト ・委託料、維持補修費、減価償却費な	85.7億円	78.4億円
③ 移転支的コスト ・補助金や生活保護などの給付費	171.8億円	168.5億円
④ その他のコスト(公債費など)	13.1億円	11.7億円
<b>経常費用 合計</b>	<b>303.1億円</b>	<b>294.6億円</b>

経常収益	H22	H21
① 使用料・手数料、分担金・負担金 ・施設の使用料や証明書発行手数料な	49.9億円	46.8億円
② 保険料、事業収益 ・介護保険料や上下水道料金など	71.8億円	64.8億円
<b>経常収益 合計</b>	<b>121.7億円</b>	<b>111.6億円</b>
<b>純経常行政コスト(経常費用-経常収益)</b>	<b>181.4億円</b>	<b>183.0億円</b>

## 資金収支計算書【キャッシュフロー計算書】

1年間のお金の出入りを3つの分野(①福祉サービス、ごみ収集などの行政サービス ②学校建設など公共施設整備 ③借金返済や預金への積立)に分類して表しています。

平成21年度末資金残高	26.8億円
当期収支	▲1.4億円
① 経常収支(行政サービス)	52.9億円
② 公共資産整備収支(学校建設等)	▲13.0億円
③ 投資・財務的収支(借金返済、積立金等)	▲41.3億円
<b>平成22年度末資金残高</b>	<b>25.4億円</b>

## 純資産変動計算書

1年間に、貸借対照表の純資産の部(自己財源)が、どのように増減したかを表しています。

平成21年度末純資産残高	625.1億円
当期変動高	5.1億円
① 純経常行政コスト	▲181.4億円
② 財源調達(市税、地方交付税、国県補助金など)	186.5億円
<b>平成22年度末純資産残高</b>	<b>630.2億円</b>

## ★ 羽生市の現状分析

- ・市民一人当りの資産と負債 (平成23年3月31日現在 55,953人)  
資産は178万4千円(H21は、179万4千円)  
負債は 65万8千円(H21は、67万8千円)
- ・市民一人当りの行政コスト  
54万2千円(H21は52万6千円)